

平成24年第4回那須烏山市議会6月定例会（第4日）

平成24年6月12日（火）

開議 午前10時00分

閉会 午前10時15分

◎出席議員（15名）

1番	田島信二	2番	川俣純子
3番	渋井由放	4番	渡辺健寿
5番	久保居光一郎	7番	高德正治
8番	佐藤昇市	9番	板橋邦夫
10番	水上正治	11番	平山進
12番	佐藤雄次郎	13番	小森幸雄
15番	高田悦男	16番	中山五男
17番	平塚英教		

◎欠席議員（2名）

14番	滝田志孝	18番	樋山隆四郎
-----	------	-----	-------

◎説明のため出席した者の職氏名

市長	大谷範雄
教育長	池澤進
会計管理者兼会計課長	小原沢栄寿
教育次長	岡清隆
総合政策課長	坂本正一
総務課長	栗野育夫
危機管理室長	清水敏夫
税務課長	澤村俊夫
市民課長	平山隆
福祉事務所長	平山正夫
健康福祉課長	網野榮
こども課長	鈴木重男
農政課長	堀江豊水
商工観光課長	高橋博

環境課長	小 川 祥 一
都市建設課長	福 田 光 宏
上下水道課長	樋 山 洋 平
学校教育課長	大 野 治 樹
生涯学習課長	川 堀 文 玉

◎事務局職員出席者

事務局長	堀 江 久 雄
書 記	大 鐘 智 夫
書 記	藤 野 雅 広

○議事日程

日程 第 1 請願書等審査結果の報告について（議長提出）

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

[午前10時00分開議]

○議長（中山五男） おはようございます。ただいま出席している議員は15名です。14番滝田志孝議員、18番樋山隆四郎議員の2名から欠席の通知がありました。定足数に達しておりますので、ただいまから会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付したとおりであります。

◎日程第1 請願書等審査結果の報告について

○議長（中山五男） 日程第1 請願書等審査結果の報告についてを議題といたします。

本請願書については、去る6月5日の本会議において所管の常任委員会に審査を付託しておりますので、その結果について、総務企画常任委員会委員長平塚英教議員の報告を求めます。

総務企画常任委員長平塚英教議員。

[総務企画常任委員長 平塚英教 登壇]

○総務企画常任委員長（平塚英教） おはようございます。総務企画常任委員長の平塚でございます。委員会での審査結果の報告を申し上げます。去る6月5日、本会議におきまして総務企画常任委員会に付託をいただきました請願書第1号 那須烏山市消防団第1分団第4部消防小屋の新築に関する請願書及び陳情書第6号 緊急事態基本法の早期制定を求める意見書提出を求める陳情について、審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本件につきましては、6月8日、まず請願書第1号につきましては、金井地区の第1分団第4部の消防詰め所及び新築を希望する予定地並びに参考として新築されました大金地区第7分団第4部の消防詰め所の現地調査を行い、請願書の審査を行いました。

この審査につきましては、提出者である愛宕行政区長阿相光郎氏、金井行政区長國井昌美氏、元消防団烏山消防団長阿部郁男氏の出席を求めまして説明をいただきました。

さらに、第1委員会室におきましては、緊急事態法に関する陳情書提出者アジアと日本の平和と安全を守る栃木県フォーラム会長代行増淵賢一氏並びに事務局長の野口茂治氏の説明を受け、慎重に審査を行いました。

審査の結果でございますが、請願書第1号 那須烏山市消防団第1分団第4部消防小屋の新築に関する請願書につきましては、紹介議員である川俣委員には除席をいただきまして、残った委員で採決をした結果、全会一致で採択決定といたしました。

特に、金井地区の消防詰め所は国道294号線沿いの市街地、烏山駅近くの住宅地の中にあり、築62年を経過し老朽化が進んでおります。出動の際に苦勞しているのが実情であります。特に、第1分団は地域住民にとって重要な消防分団であり、市の限られた予算の中で有利な補

助金等を活用して早急な整備が必要と思われまます。また、消防詰所建築にあたっては、地権者や地域住民等への十分な周知説明を行っていただき、円滑な協議を進めて建設を進めていただきたいと思います。

次に、陳情第6号 緊急事態基本法の早期制定を求める意見書提出を求める陳情につきましては、この件に関しましてははまだ国の段階でも動きが不透明ということであり、さらにこの件に関して県内の他の市町の取り組み状況を十分確認した上で、さらに慎重な審査が必要ということとし、継続審査とすることに決定いたしました。

何とぞ当委員会決定どおりご承認いただきますようお願いを申し上げます、審査結果の報告を終わりたいと思います。

○議長（中山五男） 次に、経済建設常任委員会委員長久保居光一郎議員の報告を求めます。

〔経済建設常任委員長 久保居光一郎 登壇〕

○経済建設常任委員長（久保居光一郎） おはようございます。それでは、経済建設常任委員会に付託されました件について、その経過と審査結果についてご報告を申し上げます。

去る6月5日の本会議において、経済建設常任委員会に付託をされました陳情書第5号 市道K4302 虻塚滝原線の改修整備についてでありますけれども、その審査の経過と結果についてご報告を申し上げます。

本件につきましては、6月8日に委員全員出席のもと、現地で自治会長の水井守夫さん初め陳情者、提出者からの説明を受けて現地の調査をいたしました。市道K4302 虻塚滝原線は、地域住民にとって重要な生活道路であり、子供たちの通学路にもなっていること。また、道幅も狭く、車の往来も激しく、カーブ等の危険箇所も多く見受けられること。また、側溝においても損壊箇所が多くあることなどから、早急な整備が必要であるとの委員会の総意でありました。

審査の結果、全会一致で採択と決定をいたしました。何とぞ本委員会の意思をくんでいただきまして、ご承認くださるようよろしくようお願いを申し上げます、以上で審査の結果の報告を終わります。

○議長（中山五男） 以上で、委員長の報告が終わりました。

これより委員長に対する質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中山五男） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（中山五男） 異議なしと認めます。

よって、これで質疑を終結いたします。

これより委員長報告の審査結果について、討論に入ります。

まず、報告に対する反対討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中山五男） 次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中山五男） 討論がないので、これで討論を終結いたします。

お諮りいたします。日程第1 請願書等審査結果の報告について、委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（中山五男） 異議なしと認めます。

よって、委員長の報告のとおり決定いたしました。

これをもちまして、本定例会において付議された議案はすべて終了いたしました。

ここで市長のあいさつを求めます。

大谷市長。

〔市長 大谷範雄 登壇 あいさつ〕

○市長（大谷範雄） 第4回市議会定例会の閉会にあたりまして、ごあいさつを申し上げます。

今次定例会は、6月5日を初日に、本日まで8日間にわたり慎重審議をいただき、上程をいたしましたいずれの議案も、原案のとおり可決、ご決定をいただきまして、まことにありがたく、感謝とお礼を申し上げます。審議の中で賜りましたご意見、ご提言は今後の市政運営にあたり、十分心して努めてまいりたいと存じておりますので、何とぞご理解を賜りたいと存じます。

さて、定例会冒頭のごあいさつでも申し上げましたが、税と社会保障の一体改革関連法案の与野党修正協議がいよいよ始まっております。世界一の高齢化に加えて少子化が著しい日本におきまして、年金制度を含む社会保障は各所にほころびが広がっておりますが、その主な原因は少子化による人口減少と若年層の失業率、貧困率の高さであります。

本市におきましては、少子高齢化対策を市政の重要な課題と位置づけまして、限られた財源の中でさまざまな子育て支援対策を展開をしているところであります。民間の調査によれば、本市は県内でも子育てしやすい地域に挙げられながら、残念なことに人口減に歯どめがかからない状況でございます。特に、死亡者数が昨年1年間418人ございました。それに対しまして、出生者数158人と3分の1ほどでございます。いわゆる自然減が260人、このよう

な状況でございます。

この傾向は本市に限ったことではございませんが、先週発表した厚生労働省の人口動態統計によれば、全国は自然減は昨年初めて20万人を上回りました、1人の女性が生涯に子供を産む特殊出生率、これは1.39にとどまっております。先進各国に比べまして決して高い水準とは言いがたい少子化対策は、一地域が単独で解決できる問題ではございません。現在、協議をされております政府の一体改革によりまして、若い世代が安心して家庭を持ち、出産に踏み切れるような具体的施策の整備を切に望むものであります。

さて、先週土曜日には関東地方もほぼ例年どおりに梅雨入りをいたしました。自然界、とりわけ農作物にとりましては恵みの雨でございますが、気温の変化も大きく、体調を崩しやすい季節でございます。議員各位におかれましては、健康に十分に留意をされまして、引き続き市政発展にご指導、ご尽力を賜りますこととお祈り申し上げまして、閉会のごあいさつとさせていただきます。まことにありがとうございました。

○議長（中山五男） ここで、簡単に私からもごあいさつを申し上げたいと思います。

今期定例会は5日に開会されまして、本日までの8日間でありましたが、ふなれな議長でありながら、皆様方のご協力によりまして予定どおり終了することができましたことに、心から感謝を申し上げます。

今回も議案に関する活発な質問がありましたが、特に、一般質問に登壇されました方々にはまことにご苦労さまでした。私が議長につかさせていただいて以来初めての定例会の中で、私自身、反省点が多々ありますが、議案審議の中から私が感じましたこと2点を申し上げたいと思います。

そのうちの1点であります。議員の質問の中で、数字の伴う回答を求めようとする場合は、後刻答弁とならないよう、課長等に事前に通告をしておく必要があるかと思っております。また、答弁される側も、議案等の中から想定される質問の答弁には万全を期していただきたく存じます。

もう1点申し上げます。各課長の皆さん方に申しますが、議案や一般質問の中での質疑の内容は要点をメモするなどして、それを部下職員に伝えていただきたく存じます。議場で取り上げられた問題点等が、たとえ自分の課には直接関係ない事項であっても、議会での審議内容を全職員に知らせることが職場の活性化につながり、さらには職員も問題意識を持つものと存じます。このことは私が言うべきことではありませんが、あえてこの際申し上げます。

以上、申し上げますが、私は複数のほかの議会を傍聴をしている中で、本市の議会が見劣りするようなことは決してありません。宇都宮の市議会しかり、先週はさくら市議会も傍聴してまいりましたが、本市の議会がひけをとるようなことは決してありません。その面は自信を

持っていただきたいと思っ

○議長（中山五男）　しかし、今回も多くの傍聴者が訪れておりますので、議長として今後はさらに洗練された議事運営が図られますよう努めたいと存じますので、議員の皆様方、大谷市長を初め執行部の方々のご協力のほど切にお願いを申し上げまして、今期定例会を閉会させていただきます。まことにご苦労さまでした。

[午前10時15分閉会]

上記会議録を証するため下記署名いたします。

平成24年9月4日

議 長 中 山 五 男

署 名 議 員 川 俣 純 子

署 名 議 員 渋 井 由 放